

2022年10月1日
JICA バルカン事務所

JICA 海外協力隊 赴任前留意事項

セルビア国



※本資料に記載の情報は、作成日現在のものであり、その後状況が変化している場合があります。記載内容については正確を期していますが、万が一誤りがあった場合には JICA は責任を負いかねますのでご了承ください。

※本資料は JICA 海外協力隊を対象としたものであり、その他の方には該当しない情報も含まれている可能性があります。

目次

1. 赴任時の携行荷物について
2. 別送荷物について
 - (1) アナカン・郵送等の利用について
 - (2) 通関情報について
3. 通信状況について
 - (1) パソコンの普及状況
 - (2) 携帯電話の普及状況
4. 現金の持ち込み等について
 - (1) 現金持込にかかる注意
 - (2) 両替状況
 - (3) 赴任時に用意することが望ましい金額について
5. 治安状況について（JICA の安全対策については、隊員ハンドブックを参照）
6. 交通事情について
7. 医療事情について
8. 任国での運転について
9. お問い合わせ
10. その他

1. 赴任時の携行荷物について

赴任時に必ず持参するもの

※隊員ハンドブック 3-5 出発時の注意事項を必ず確認の上、ハンドブックに記載されている、「手荷物として持参するもの」に加え以下を持参ください。

- 1) JICA 海外協力隊ハンドブック
- 2) スーツ等の正装：表敬訪問等で使用します
- 3) 常備薬、共済会ハンドブック、体温計
- 4) その他
身の回り品、活動に必要な機材等

セルビアでは通常の生活用品、電気製品はほとんど購入可能です。ただし、電圧が 220V、周波数は 50Hz なので、日本の電気製品を携行し、使用する場合は、ヨーロッパ仕様のプラグアダプタ（C タイプか SE タイプ）と必要に応じ変圧器が必要です。なお、セルビアでの変圧器の購入は容易ではありません。

<注意事項>

・段ボールで同時携行する場合、荷物は入国の際の通関にて検品される可能性がありますので、できるだけスーツケースやバッグを使用してください。また、検品された場合に備え、パソコン・電気製品など課税される可能性のあるものは、オリジナルの箱を使わず、カバンに入れるなどして再販不能の中古品であることを明確に示してください。（その他通関情報に関しては後述。）

※本来、JICA ボランティアは同時携行の場合は免税で荷物を持込めますが、税関職員の認知不足で税金の支払いを命じられトラブルが生じることもありえるので、このようにした方が安全です。

・荷物はすべて鍵付き、もしくは南京錠等で鍵をかけられるタイプにしてください。

・持参するクレジットカードの番号やカード紛失時の連絡先、在留届に入力する本籍住所、隊員番号等の情報は必要に応じて控えておいてください。

2. 別送荷物について

(1) アナカン・郵送等の利用について

COVID19 の感染拡大に伴い、通常時より到着までに時間がかかりますので、留意ください。現在は、航空便のみ利用可能。流動的なためその都度、ご自身でご確認ください。

- 郵送（航空小包など。日本郵便 HP を参照して下さい）
受け取りの際にアナカンより手間がかからず、国際宅急便に比べて安価で送ることができますが、高額な物品は避けるべきでしょう。
※内容不明小包は検品対象となり、国際空港税関まで本人がパスポート持参で開梱立ち会いの必要があります。新品のものは開封して再販不能の状態にすれば、中古品としての扱いになり課税対象にはなりません。内容名には[USED]を付けてください。例：USED BOOKS／USED CLOTHES
※内容がインボイス、パッキングリストにより明確であっても、必ず開梱されます。新品の場合は郵便局での引き取りの際に関税を払うことで引き取れます。郵便局での保管期間は短いので、通知葉書の受領後速やかに指定の郵便局に出向くことが必要です。
- アナカン（Unaccompanied Baggage）（運送業者の HP を参照して下さい）
荷物が大量にある場合は、アナカンが便利です。ただし、個人での免税通関手続きには膨大な手間暇がかかるため通関業者を使うのが一般的であり、航空（海上）運賃に加えて、通関手数料、保管料、場合によっては配送料金が必要となります。
- 国際宅急便（運送業者の HP を参照して下さい）
出荷の際に業者の詳しい説明があります。貨物の引き取り、輸出入の通関、貨物の配送とすべての作業を業者がやってくれますので手間がかからず便利ですが、やや高価です。

（1）通関情報について

輸送した貨物の内容が不明な場合は検品対象となり、国際空港税関まで本人がパスポート持参で開梱立ち会いの必要があります。新品のものは開封して再販不能の状態にして輸送すれば、中古品としての扱いになり課税対象にはなりません。

内容名には[USED]を付けてください。例：USED BOOKS／USED CLOTHES

内容がインボイス、パッキングリストにより明確であっても、必ず開梱されます。内容品/箱が 60 ユーロ以上の場合課税対象となる場合があります。到着時確認のために、送付物リストを作成し持参ください。また、貴重品は入れないでください。課税対象となった場合は郵便局での引き取りの際に関税を払うことで引き取れますが、すべて個人負担となります。郵便局での保管期間（約 30 日間）は短いので、通知葉書の受領後速やかに指

定の郵便局に出向くことが必要です。

3. 通信状況について

(1) パソコンの普及状況

- パソコン

パソコンは日本から持ち込み可能です。セルビアでもデスクトップ／ラップトップともに購入は可能ですが、基本的にセルビア仕様（キーボードがセルビア語配列等）のため、日本から持ち込むことをお勧めします。電圧は欧州と同様 220V です。なお、日本からパソコン及び周辺機種を持参する場合、電源が100/240 ボルト兼用になっている機種の場合は差込プラグにプラグアダプタを使用するだけで使用可能です。100 ボルト専用になっている機種の場合は変圧器が必要です。万一の場合を想定して、購入時の領収書（保険請求のため）、国際保証書、OS システム等のオリジナルソフトを携行することをお勧めいたします。停電直前や落雷の際に過電圧がかかり、回復不能なダメージを受けることもあるので、防護のための電源安定器（スタビライザー、当地購入可）の使用をお勧めします。

- インターネット

ベオグラード市内のホテルであれば、日本から持ち込んだパソコンでホテルの部屋などから接続できます。Wi-Fi も普及しています。ホテルのビジネスセンター、インターネットカフェなどでも利用可能です。ただし一部の地方の小都市ではネット環境が十分でないところもあります。アパート等一般市民の住居ではインターネットは普及傾向にあり、大家を通じてプロバイダと契約することでインターネットを利用できます（有線／無線共に可能）。

(2) 携帯電話の普及状況

- 携帯電話

安全管理の一環として携帯とSIMは当事務所から貸与しますが、支払いはプリペイド方式です。料金は各自で支払い、常につながるようにして下さい。別途、ご自身で携帯電話を購入・使用される際には以下をご参照下さい。

携帯電話は一般的に広く普及しており、いたるところにある携帯電話ショップで容易に入手可能です。また、自身の携帯電話を持参し、利用する場合は、携帯電話に挿入するSIMカードを入手し、携帯電話にセットすることで利用可能となります。ただし、日本から携帯電話を持参し、当地で使用する際にはSIMロックが解除されている状態である必要があります。

通話料の支払いは前払い方式（プリペイド）と後払い方式とがありますが、前払い方式をお勧めします。主な携帯電話ネットワークは、060 で始まるビ

ップ（オーストリア系）、062/063 で始まるテレノール（ノルウェー系）、064/065 で始まるテレコムセルビア、066 で始まる mt:s があります。プリペイド方式の場合、通話料の補充は、「口頭電子入力方式」でおこないます。キオスクなどで「500 ディナール分をこの番号へ」とお願いすると即座に手続き・入金されるシステムで、入金確認もその場でできます。

4. 現金の持ち込み等について

(1) 現金持込にかかる注意

セルビア入国の際には所持金額によって外貨申告の義務があります。5,000 ユーロ相当額以上の現金、小切手、約束手形、為替手形等を持込む場合には、入国時に税関で外貨等持込証明書を発行してもらう必要があります。

(2) 両替状況

大きなホテル、銀行、市内両替所で換金可能です。大手銀行などでは日本円の両替も可能ですが、ユーロ（またはドル）からの換金が一般的ですので、持参する場合はユーロでお持ちすることをお勧めします。トラベラーズチェックは、ユーロ、米ドルのものについては大手銀行で現金への換金が可能ですが、窓口での対応に非常に時間を要する上、手数料が 1.5-2.0% かかり、さらにホテルなどで直接支払いに利用することはできないため、お勧めしません。

両替所に関しては主要都市のいたるところにあります。ベオグラード市内においては、中心街の両替所のレートが若干良いようです。両替後はその場をすぐ離れないで目前確認し、交換した紙幣の破損や、不審な場合はためらわず交換を申し入れましょう。

(3) 赴任時に用意することが望ましい金額について

現地生活費は、当地で開設いただく銀行口座に四半期毎に振り込まれます。セルビアでは、パスポートを身分証明書として外資系銀行の口座を 1~2 日程度で開設でき、着任後口座を開設し次第、事務所から第 1 四半期分の現地生活費を送金いたします。他方、住居費のデポジット（最大 500 ユーロ）を負担いただく必要があるため、赴任時には 1000~1500 ユーロ程度をご持参ください。

5. 治安状況について（JICA の安全対策については、隊員ハンドブックを参照）

凶悪犯罪は他の欧州諸国と比較しても少ないものの、夜間は事件発生率が高まります。また、スリ・置き引き等の一般犯罪は多いので注意が必要です。詳しくはセルビアに着任後のオリエンテーションにて、バルカン事務所から当地における安全管理について説明します。

(1) とるべき安全対策

持っている荷物には常に気を配りましょう。口の閉まらないバッグなどは持た

ないよう心がけましょう。混雑している場所では、リュックはなるべく前に持ちましょう。

(2) 注意すべき場所

鉄道駅／バスターミナル周辺、バス・トラム車内、小さな裏通り、混雑している青空市場など。スリ被害が報告されています。

(3) 最新治安情報

2022年10月現在、特段の治安上の脅威は報告されていません。

最新情報は以下のサイトでご確認いただくか、バルカン事務所までお問い合わせください。

https://www.anzen.mofa.go.jp/info/pcsafetymeasure_175.html (外務省「海外安全ホームページ」)

6. 交通事情について

COVID-19の感染状況に応じ、公共交通機関(バス、トラム、)の利用を控え、事務所が用意するレンタカーを利用していただく場合があります。

(1) 一般事情

ベオグラード市内では車での移動は一般的で交通量も多いです。運転手つきレンタカーサービスもあり、走行距離によって値段が変わりますが、一日100ユーロ程度からサービスを受けることができます。

タクシーはタクシー乗り場で客待ちをしているものを拾うか、電話またはアプリで依頼するのが良いでしょう。電話をすると、タクシーの番号と到着時間を教えてくれ、大抵2~5分程でタクシーが到着します。運転手の多くは簡単な英語会話が通じます。鉄道駅周辺や空港の到着ロビーで客待ちしているタクシーは概ね白タクですのでご利用は控えることをお勧めします。白タクと見分けやすくするよう、ベオグラード市は正式な認可を受けているタクシーのライセンスプレートの最後の二文字をTX(例、BG-123-TX)としています。またレストラン等では店員にタクシーを呼んでもらうことをお勧めします。

公共バスやトラム、トロリーバスも市内で数多く走っており利用が可能です。切符は、BUS PLUS・ICカード乗車券(以下、BUS PLUS)形式で統一されており、バスでもトラムでも使用できます。BUS PLUSの広告が張られているキオスクで250ディナール(カード発行料)BUS PLUSが購入でき、その後必要額をチャージする仕組み(1回乗車料金約90ディナール)となっています。乗車時に各入口のICリーダーにあてて改札を受けてください。ベオグラードの中心部にある、Beogradankaというビルに入っているBUS PLUS受付で写真付きの定期券を購入することも可能です。時々、検札官が車内を回って来て、無賃乗車の場合、罰金(5000ディナール:2022年10月現在)が課されるので注意してください。バス、

トラム、トロリーバスとも市内は基本的に全ての停留所に停車しますが、運転は荒いことが多く、乗車すぐに急発進することがほとんどです。必ず吊り革などにつかまるなどご注意ください。バス、トラム、トロリーバスの路線図は、市内の観光局などで配布されています。

(2) 空港から市内への移動

空港からベオグラード市内までのタクシー代は、行き先のエリアごとに金額が固定されています。(多くの住居がある旧市街までは約 2200 ディナール、約 2700 円) タクシーの支払いは、行先と固定代金が記入されているバウチャーで行われます。バウチャーは地下 1 階到着ロビー前のタクシー案内所で発券されるので、行き先の住所を正しく伝え、発券されたバウチャーを運転手に渡し、降車時に代金を直接運転手に支払う流れとなります。

7. 医療事情について

救急対応が必要な場合には 194 をダイヤルすると最寄りの病院につないでくれますが、外国人対応に慣れており英語が通じる私立医療機関の利用が無難です。独自の救急車を備えており、24 時間ほとんどの救急対応が可能です。

私立医療機関は清潔で医療スタッフも充実し、概して最新の検査や治療機器が使用されています。一般的に医師は英語を話しますが、他の職種のスタッフは英語を話せない人もいます。一般傷病受診には予約が必要です。また医療費は高額なので十分な現金、あるいはクレジットカードでの支払いとなります。

医療機関名 : Bel Medic (ベル メディック) www.belmedic.com

住所 : Viktora Igoa 1、Koste Jovanovica 87、Palmira Toljatija 1

(いずれもベオグラード市内)

電話番号 : 011-309-1000, 060-309-1000, 069-309-1000

医療機関名 : Anlave Clinic (アンラヴェ クリニック) www.anlaveclinic.rs

住所 : Vase Pelagica 68、Senjak (ベオグラード市内)

電話番号 : 011-265-0950 (08:00~20:00)

また、市販薬は薬局で簡単に入手できますが、日本製の薬品は入手できません。常備薬が必要な方は必ず持参してください。またその成分名を英語で記載し、受診時には医師が理解できるようにしてください。

予防接種は私立病院や公的な保健機関にて、小児用ワクチンや A 型・B 型肝炎、インフルエンザワクチンが受けられます。動物咬傷後の狂犬病ワクチン接種は公的な保健機関で行っています。ダニ脳炎は森林などに入らなければ感染の危険は低く、通常の生活ではほぼ見られず Bel Medic ではダニ脳炎ワクチンを取り扱っていません。

8. 任国での運転について

当国では原則として、自動二輪・四輪運転ともに隊員の運転を不可としています。

9. お問い合わせ

任国での活動に関する質問は、以下の事務所代表アドレス宛にメールでお問い合わせください。

- ※長期隊員の方は、お問い合わせは派遣前訓練が開始してから行ってください。
- ※活動に関わる内容以外の質問はお控えください。

[バルカン事務所代表アドレス : bk_oso_rep@jica.go.jp](mailto:bk_oso_rep@jica.go.jp)

10. その他

- ・衣類、生活物資や電化製品等に関しては、品質と種類を問わなければベオグラード市内等にて入手可能です。
- ・食料品に関しては、日本のように四季があるため、年間を通して四季折々の農作物が入手可能です。魚介類に関しては、ベオグラードの市場や大型スーパーマーケットで、海水魚、淡水魚、エビ、イカ等も出回っています。ただし、セルビアには海がないため、淡水魚を除いては輸入品となるため割高です。
- ・ベオグラード市内には、健康食品店が多くあり、また、大型スーパーマーケットなどの健康食品コーナーで、割高で種類は少ないが醤油、味噌、紙パックの豆腐、料理酒、うどん、海苔、みりん等を購入できます。
- ・菜箸、しゃもじ、おろし金等の日本料理独特の調理器具は入手困難です。
- ・手指消毒液や使い捨ての不織布マスク（50枚、約400円）購入可能です。
- ・衣類は、日本の四季の衣類で対応することができます。必要に応じて現地で購入可能ですが、日本人の体型に合うサイズが必ずあるとは限らず、概して大きめです。冬は、氷点下になることもあるため防寒着が必要。一方、事務所内などの室内では冬の間も暖房が良く入る環境にあるため、脱ぎ着しやすいものが良いでしょう。
- ・現地訓練中は事務所が手配したホテルまたはアパートメントに宿泊します。